

堺市立美原北小学校
校長 北林 康男

令和6年度 重点目標

・子どもが自ら考え、学びを深め合う授業づくり～対話を通した学び合い～

・自分の考えを書くことができる児童が多く、授業の際や自主学習などでは積極的に取り組むようになっている。その考えた内容を自分の言葉でペア・班活動の中で伝えることができるようになっている。話し合い活動の中で自分の意見を伝えるだけでなく、他者の意見に対して聞こうとする姿勢も見られている。また、めあてを意識して学習活動・ふりかえりを書くことができている。

・一方基礎学力の定着に時間がかかる児童が多い。また、話し合い活動では、自分の書いたものを話すだけで終わっている児童も多い。受け答えや他者の意見から違う意見を考えたり、その発言に対しての自分の考えを伝えたりすることなどはできていない児童が多いので、今後の取組が必要である。

人との関わりに対する意欲や意識の向上がみられた。また、学級・学年・他学年と、児童の視野も広がっている。特活や道徳等の授業とのリンクも意識していることができています。一方、他学年との交流が希薄なところもあり、機会を確保していく必要がある。児童の自立に向けて児童の主体的な活動を支えるアプローチを指導者が行っていく必要がある。

・体育アンケートの結果から、体育の授業や運動が好きという児童は多いが、一昨年度に比べると減少していることが分かった。安全面においては、体育の時間中に起きた怪我が多かったため、今まで以上に安全面の指導が必要である。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～〇月)		達成状況 (年度末)			
									自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	授業改善	・「子ども自ら考え、学びを深めあう授業作り」をめざす。	・カリキュラムマネジメント表を作成し、各学年国語科・算数科に重点を置き、実践する。 ・各教科の学習から表現力を向上させるために「対話」を通した取組を行う。	・校内研究授業・公開授業	状態について協議	毎学期						
		・基礎学力を定着させるため教師の指導力向上をはかる。	●ふりかえりの質の向上をめざす。 ●わかりやすい板書づくりに取り組む。 ●話し合い活動の方法を精査していく。 ★ペアやグループ学習を通して、他者と学びあう授業に取り組む。	・校内研究授業・児童のノートの見取り ・ふりかえりの内容の語彙や表現 ・アンケートでの肯定的意見が8割	状態について協議 状態について協議 アンケート	毎学期 毎学期 年度末						
	学習内容の定着	・学習内容の定着をはかる。 ・家庭学習習慣の定着をめざす。	・めあてに対する「自分の考えを書く」活動を行い、言語化して表現する。 ・場面に合わせた話し合い活動やつぶやき欄等を活用し、考えを表現する手立てとする。 ★考えをまとめ、交流し伝えあい、協同的・探究的に学びを深めていく。	・校内研究授業・児童のノートの見取り ・「自分の考えを書く」表現活動 ・児童アンケートの考えのつぶやき欄についての項目で、肯定的意見が8割	状態についての協議 児童アンケート	毎学期 年度末						
			・自主学習ノートを活用する。学期ごとにノートオリンピックを開催し、児童の意欲喚起を行う。 ・タブレットの持ち帰り学習を行い、家庭での学習活動の補助を行う。	・ノートオリンピック ・保護者アンケートで「子どもは自主学習ノートを使い、自主学習に取り組んでいる」の肯定率の増加	状態について協議 学校診断アンケート	年度末						

豊かな心・健やかな体	あたたかい集団づくり	「人とつながる優しい北っ子を育てる」 ・「優しい言葉遣い・優しい行動・ほめる活動」を増やす。 ※いじめ予防・防止の視点を含む	●「やさしさみつけ月間」を学期に1回行い、啓発運動・促進を図る。 （1年間掲示して、目に見える形として残す） ・児童会役員の放送などを通して、やさしさみつけのメッセージの内容の質の向上を図る。 （行動に対しての思いや感情を表現する） ・他クラスのやさしさの木をみにいく時間の設定。	・児童の様子を見取り ・児童会アンケートの実施 「やさしさをみつけることができたか」	状態について協議 児童会アンケート	年度末						
		・人との関わり・交流機会を設定する。	・北っ子活動・ペア学年交流など、学年をこえたたてわり活動を多く実践し、全校児童の関わりの機会を増やす。	・児童の様子を見取り ・児童会アンケートの実施 「児童会目標を達成できたか」 「他学年とつながることができたか」 「活動の達成感」「活動への所属感」 肯定的意見が9割以上	状態について協議 児童会アンケート	年度末						
		・子ども主体の活動を促進する。	・委員会での常時活動を実施し、5、6年生が学校運営の役割を担い、自立できる活動を増やす。	・委員会活動での児童の日々の様子	状態について協議	年度末						
	心身の健康の促進	・運動を楽しむことができる児童を育てる。	●楽しい体育授業の実施のために、各領域について、主運動につながる運動資料を作成し楽しい体育授業をめざす。 ・多様な運動に触れ合う機会の増加のために、体力向上週間や教具の積極的な活用に取り組む。	・体力テスト ・児童の日々の様子 ・生活アンケート 肯定的意見の増加	体力テストの記録比較 状態について協議	年度末						
		・心身な健やかな成長を促進する。		・児童の日常の様子 ・病院搬送件数の確認 ・生活アンケートの実施	状態について協議 病院搬送件数の前年度比較、生活アンケートの比較	年度末						
	子ども理解 特別支援	・個に応じた支援体制づくりを行う。	・通常の学級、通級指導教室、支援学級が連携した組織的な指導体制の充実をはかる。 ・子ども相談委員会（校内委員会）を開催し、通常の学級や通級指導教室、支援学級、家庭での支援方針や支援方法、役割分担について、検討を行う。	・指導体制の連携確認 ・児童に対しての効果的な支援	状態についての協議 状態についての協議	年度末 年度末						

校長より（年度末）

学校関係者評価者から（年度末）